

## 個 別 注 記 表

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

定額法。

なお、耐用年数および残存価格については法人税法に規定する方法と同一の基準によっています。ただし、車両については定率法を採用しています。

##### (2) 無形固定資産

定額法。

なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっています。

#### 2. 引当金の計上基準

##### (1) 賞与引当金

従業員に支給する賞与に備えるため、将来の支給見込額のうち当期対応分を計上しています。

##### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。

#### 3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理

消費税等については税抜経理方式によっています。

##### (2) リース取引に関する会計処理

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理を行っています。

#### 4. 繰延税金資産・繰延税金負債の表示方法の変更

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正（企業会計基準第 28 号 平成 30 年 2 月 16 日）等を当会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は「投資その他の資産」の区分に表示し、繰延税金負債は「固定負債」の区分に表示する方法に変更しております。

### II. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 1. 当期末における発行済株式の数

普通株式 3,000 株